

BCM (事業継続管理) セミナー

事故前提社会における
企業のBCM(事業継続管理)
～日本型BCMを提言する～

主催:BCIジャパンアライアンス

株式会社アズジェント、株式会社インターリスク総研、
三機工業株式会社、日本ヒューレット・パカード株式会社
BTジャパン株式会社(五十音順)

The Business Continuity Institute(BCI)
三井住友海上火災保険株式会社

後援:経済産業省(予定)、(財)情報処理相互運用技術協会、
(社)日本ファシリティマネジメント推進協会

相次ぐ火災事故、爆発事故、地震の発生など、企業は事業を継続できなくなる様々なリスクにさらされています。一方、自社でなく原材料調達先企業や納入先企業などの事故によって事業を継続できなくなる可能性も有しており、思わぬところから企業存亡の危機にさらされることがあります。企業の事業継続への関心は確実に高まっています。海外ではBCM(Business Continuity Management; 事業継続管理)への取組みは益々強化されており、日本でもBCMに対する注目度は今後増加すると予想されます。

本セミナーでは、最近世界的にも注目されているBCMの考え方や手法を紹介するとともに、BCMに取り組んでいる企業の実例、事故が起こった際の対応事例を紹介します。

また経済産業省からは、企業のBCMに対する取組み方などについて講演いただきます。

企業経営の参考になるものと思われまますので、是非、多数の皆様にご出席頂きますようお願い申し上げます。

日時 2004年3月9日(火) 13:30~17:00(受付開始:13:00)

場所 三井住友海上 駿河台本社ビル 1F大会議室 (東京都千代田区神田駿河台3-9) 会場の地図は別添の通り

スピーカー 経済産業省 産業技術環境局 管理システム標準化推進室
室長 **吉村 宇一郎** 氏

BCI日本支部代表
篠原 雅道 氏
(株式会社インターリスク総研 主任研究員)

経済産業省 商務情報政策局 情報セキュリティ政策室
課長補佐 **山崎 琢矢** 氏

ヒューレット・パカード カンパニー HPサービス
グローバル・ダイレクター **ブライアン・フォウラー** 氏
英語での講演には逐語通訳を行います。

参加費 5,000円(資料代・消費税込み)

定員 200名(定員になり次第締めさせていただきます)

お申し込み先



BCIジャパンアライアンスセミナー事務局(株式会社 毎栄)

FAX:03-3212-8585

E-mail: t-sato@maiei.co.jp お問い合わせ先 TEL:03-3212-3791(坂田・佐藤)

お申し込みは、添付のFaxもしくはE-mailにてお願いいたします。お申し込み頂きましたら、折り返し、参加票と参加費の請求書をご郵送申し上げます。

BCIについて



BCI(The Business Continuity Institute ; 事業継続協会) は、BCMに携わる専門家の支援とガイドラインの提供を目的として、1994年に設立された世界最大規模のBCM有資格者の会員組織です。現在世界42カ国に1,500名の会員を有しています。これまで、BCMに関するガイドラインの作成やセミナーの開催などを通して、全世界へBCMの普及・啓発活動を行ってきました。

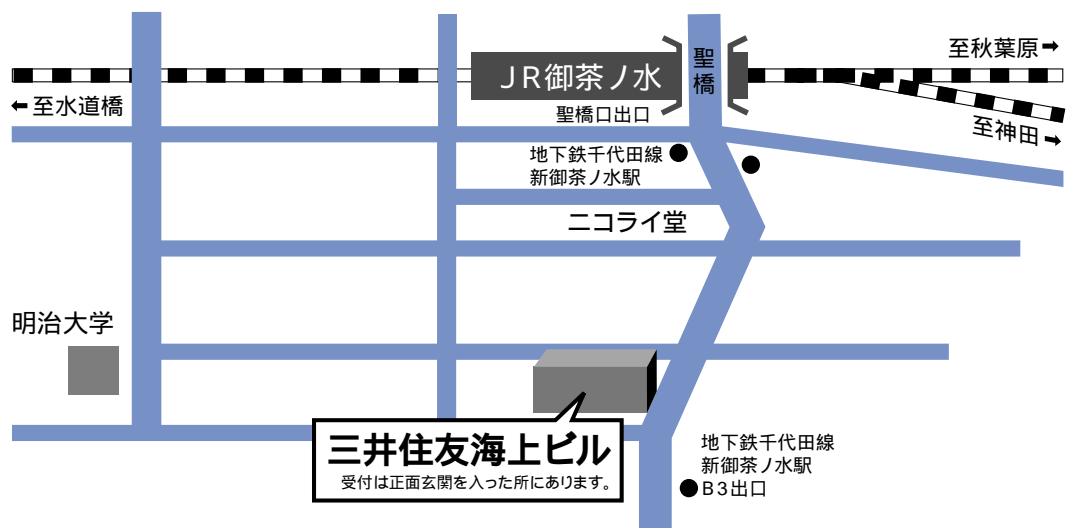
BCIジャパンアライアンスについて

日本でBCMの普及・啓発活動を行っていくために、欧米の企業を含む7社が協業を図ったものです。現在は、株式会社アズジェント、株式会社インターリスク総研、三機工業株式会社、日本ヒューレット・パッカード株式会社、BTジャパン株式会社、ストロール社(米国のBCMに関するシステム開発会社)、セバーン社(UKのリスクマネジメント会社)から構成されています。本アライアンスはクローズ型とはせず、オープン型としています。

セミナー会場のご案内

三井住友海上駿河台本社ビル 1階大会議室 東京都千代田区神田駿河台3-9

- (J R)御茶ノ水駅下車 徒歩10分
- (地下鉄) 千代田線 新御茶ノ水駅下車
丸の内線 淡路町駅下車 B3出口をご利用下さい。
都営新宿線 小川町駅下車



~ Seminar at a Glance ~

13:30 開会のご挨拶

13:35 基調講演 1

「JIS Q2001とBCM、そして今後の展開」

経済産業省 産業技術環境局 管理システム標準化推進室

室長 吉村 宇一郎 氏

- 1 JIS Q2001の概要
- 2 JIS Q2001とBCM
- 3 BCMの重要性
- 4 産業界のBCMに対する取組み方
- 5 今後の展開～経済産業省のBCMに対する考え方～

14:05 基調講演 2

「事故前提社会とBCM」

経済産業省 商務情報政策局 情報セキュリティ政策室

課長補佐 山崎 琢矢 氏

- 1 事故前提社会について
- 2 事故前提社会とBCM
- 3 情報セキュリティとBCM
- 4 今後の展開

14:35

「BCMの構築について」

BCI日本支部代表

篠原 雅道 氏(株式会社インターリスク総研 主任研究員)

- 1 最近の事業継続を脅かす大規模事故について
- 2 企業を取り巻くリスクのマネージとBCM
- 3 BCMの事例
- 4 BCMの構築について～日本型BCMへの考察～

15:35 REFRESHMENT BREAK

15:50

「米国での事例にみるBCM対策について」

ヒューレット・パッカード カンパニー HPサービス

グローバル・ダイレクター プライアン・フォウラー 氏

- 1 ニューヨークにおける大停電で企業はどう行動したか
- 2 大型ハリケーンにおける企業の対策

16:50 質疑応答

17:00 閉会

BCIジャパンアライアンスセミナー事務局 行
FAX 03-3212-8585

三機工業株式会社

管理番号
(未記入)

BCM(事業継続管理) セミナー参加申込書

FAX専用

貴社名	
部署名	
ご出席者名	
役職	
住所	
電話番号	
Fax番号	
メールアドレス	
今後、主催会社からBCMなどに関する情報(E-mail/DM/Fax)をお届けしてよろしいですか。	
送付希望 不要	

*お申し込みを頂きましたら、折り返し、参加票と参加費の請求書をご郵送申し上げますので、参加費を予めお振込み頂き、参加票をご持参の上、お越しく下さい。